

## 4. 外科臨床研修プログラム

### 1. プログラムの目的と達成目標

目標： 良識ある医師、特に外科に必要な知識と技術を修得する。

達成目標（卒後3カ月に修得すべき目標）

- (1) 外科用語の修得、外科カルテ（臨床経過、手術所見）が記入できる。
- (2) 外科疾患の診断と治療の判断ができる。
- (3) 外科手術、虫垂炎、ヘルニア、痔核の担当医となれる。
- (4) 消化器外科、一般外科、小児外科、乳腺外科、救急外科の補助ができる。

### 2. 研修期間：1年次選択必修

### 3. 週間スケジュール

	午前	午後	午後18時以降
月	外来、カルテ記入	手術	術後回診
火	部長回診	外科処置、検査	症例検討、勉強会
水	手術	手術	術後回診
木	外来診察	内視鏡検査	
金	手術	手術	術後回診
土、日	<病棟回診、指導医の当直、手術時は出勤する。>		

### 4. 手術内容と年間手術件数

年間手術件数：2006年(519例)、2005年(520例)、  
2004年(555例)、2003年(583例)

消化器外科手術：胃癌(50例)、結腸癌(60例)、肝癌(20例)、胆石-腹腔鏡下胆  
嚢摘出術(60例)、虫垂炎(40例)、ヘルニア(40例)ほか

小児外科：鼠径ヘルニア(40例)、虫垂炎(10例)、メッケル憩室(1例)、  
ほか

乳腺外来：乳癌(20例)

その他：一般外科、肛門外科、救急手術など多数

\* 主治医になった患者では、100%執刀医となる。よく予習して手術に望むこと  
そのためには、普段から手術を見学し、マスターすること。

### 5. 学会出席、学会発表、論文作成

学会出席：日本外科学会、日本消化器外科学会、近畿外科学会など

研究会出席：院内症例検討会、講演会、和歌山県立医科大学の研究会など随時

学会発表：研修の成果として、症例報告、論文作成をする。

(スライド作成から学会発表、論文作成を丁寧に指導を受ける。)

## 6. 研修の評価

外科の自己評価表および指導医の評価表にて、毎月判断する。

最終的には、指導責任者が研修医と手術し、併せて面接試問を行って評価する。

## 7. 学会による施設認定

日本外科学会専門医制度修練施設      日本消化器外科学会専門医修練施設

日本消化器病学会認定施設              日本消化器内視鏡学会認定指導施設

## 8. その他

(1) その後の研修によっては、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会の専門医取得が可能となる。

(2) 医学研究や医学博士取得を希望される方は、和歌山県立医科大学第二外科教室へ紹介する。